

I 2020年度 事業報告

I-1. 法人全般

〈学生募集活動について〉

文部科学省の学校基本調査によると2020年度の全国の専修学校（専門課程）への入学者数は**279,586人**（対前年度**99.8%**）となり前年度より**421人**減少している。

一方、大阪府の専修学校（専門課程）の入学者数は**33,055人**（対前年度**99.2%**）となり前年度より**254人**減少し、全国、大阪府いずれも前年度からほぼ横ばいであった。

山口学園では、ECC国際外語専門学校が**646人**（対前年度**98.2%**）、ECCコンピュータ専門学校が**510人**（対前年度**108.7%**）、ECCアーティスト美容専門学校が**301人**（対前年度**102.7%**）となり、専門課程全体では**1,457人**（対前年度**102.6%**）となった。また、ECC国際外語専門学校日本語学科の正規留学生及び進学系コースの募集については、新型コロナウイルス感染拡大による渡航者の入国制限の影響を受け、**342人**（対前年度**63.3%**）となり、大きく減少した。

各校コース別に見るとECCコンピュータ専門学校のITカレッジ（対前年度比**128.1%**）とECCアーティスト美容専門学校のビューティアドバイザーコース（対前年度**128.6%**）が大きく伸びた。

〈就職指導について〉

コロナ禍の影響を受けたインバウンド事業関連（観光、航空、美容）の求人が大きく減少した。各校の就職内定率は、ECC国際外語専門学校**97.4%**（前年度**100.0%**）、ECCコンピュータ専門学校**98.8%**（前年度**98.9%**）、ECCアーティスト美容専門学校**95.2%**（前年度**100.0%**）となった。

I-2. ECC国際外語専門学校（2020年度事業報告）

1. 総括

入学者数は2020年度646名（2019年度658名）で前年比98.2%となり、日本人、留学生とも9年連続入学者増を続けていたが、一転減少に転じた。進路選びの早期化に対応するため学校案内を12月に完成させ、高校2年生の12月から募集を開始する体制を定着させ対応したが、A0エントリー数は403件（2019年度424件）で21件減となり、早期活動の専門学校専願層の獲得に陰りが見られた。イベント内では「ファンづくり」をテーマに、在校生を多く起用することにより高校生との関係構築を意識し入学後の姿をイメージできるよう運営を行った。大学編入においては、募集ピーク時期の3月に新型コロナの感染が拡大したことや高校生の安全志向への意識変化、大学の補欠合格、繰り上げ合格の流れを受け147名入学（2019年度155名）、8名の入学者減となった。

教務面においては、新型コロナ不安による休退学や進路変更も発生し、進級率は88.9%（2019年度91.3%）、卒業率は99.2%（2019年度98.8%）となった。学生アンケート結果は、授業満足度4.14（2019年度4.15）、担任満足度4.14（2019年度4.16）であった。学校運営に関しては、学校行事、国内研修、海外留学、国内外のインターンシップの中止や規模の縮小など教育活動に制限がかかるなか英語科目において反転授業、オンラインによる成果発表会や定期試験の実施など新たな学びのスタイルを取り入れつつ、感染予防策を徹底しながら対面授業を中心に学修機会の提供に努めた。新たな取り組みとして学生会の発足や出席管理システムの導入、学生との迅速な情報共有のため学生アプリ導入や補講制度の充実を通じて、多くの学生を支援できるしくみを構築し学生数増に対応した。保護者と一体となって学生を支援するため保護者アプリも導入。今後はICT活用による自学自習コンテンツ開発やLMSによる中間評価などで学生の学習状態を早期に把握し対応することにより、継続率のさらなる向上を目指していく。

英語教育面では、新型コロナの影響を受けEIP、ELCなど英語教育コンテンツの利用者が減少。また昨年155名の参加者があったフィリピン・セブ島留学をはじめ留学、語学研修などの国際交流プログラムも実施できず、オンライン留学などに切り替えて提供。共通英語カリキュラム改定や英語管理システムの導入など学生の英語力向上の取り組みをさらに強化していく。

進路面では、インバウンド需要を背景に空港・ホテル分野を中心に多くの求人があり、4年連続で就職内定率100.0%を達成していたが、新型コロナ感染拡大の長期化により多くの企業が新卒採用を控えることとなり後半求人数が減少し、内定率は97.4%に留った。エアラインCA職も内定は1名のみ（2019年度20名）。大学編入合格実績は進学希望者136名のうち132名が合格。合格率は97.1%（2019年度96.5%）。国公立大・難関私大合格率は35.9%（2019年度45.5%）となり、大学側の急な試験制度の変更や学生の安全志向も影響し、合格率、難関大合格率とも数字を落とした。

ICT教育推進のため学内のWi-Fiやネットワーク環境の整備、撮影スタジオ新設など環境面を強化しつつノートPCを全学生に在籍期間中無償貸与し、ICTを活かして教育の質を向上させ、力のつく授業を展開し、教育成果を発表する場を充実させることにより「職業人養成教育」を強化する。また3年制コース導入、比率拡大を通じ、特色のある学校づくりや教育のしくみづくりを実践するとともに継続して高い教育成果を追求し、教育実績を外部に発信することにより学修成果の可視化を進めていく。

2. 学事報告

4月	・4年生13名・3年生39名・2年生581名進級／新入生646名を迎える。・入学式中止
----	---

	・TOEIC 実力テスト中止
5月	・オンライン授業開始(5/11～) ・スポーツ大会中止 ・海外インターシップ(カナダ) 渡航不可につき中止
6月	・対面授業再開 ・保護者会(オンライン) ・海外インターシップ(ニュージーランド) 渡航不可につき中止
7月	・七夕イベント ・第1回教育課程編成委員会 ・前期末学生アンケート ・自己点検評価委員会
8月	・TOEIC 実力テスト ・留学系コース渡航不可判断(韓国・イギリスなど)
9月	・前期末試験 ・後期授業開始 ・第1回学校関係者評価委員会
10月	・保護者会 ・就職保護者会(オンライン) ・TOEIC 実力テスト
11月	・就職保護者会(オンライン) ・第3回校友会中止 ・進級年次生学生PC配布 ・中間評価
12月	・地球祭(オンライン) ・新年度POC
1月	・TOEIC 実力テスト ・入学前教育(オンライン) ・第2回就職ガイダンス、SPI 模 擬試験 ・後期末試験(オンライン) ・後期末学生アンケート
2月	・春期就活プログラム(各種対策講座、業界セミナー) ・春期オンライン留学 ・第 3回 Global Education Awards (GEA) ・第2回学校関係者評価委員会 ・第2回教 育課程編成委員会
3月	・卒業式(分散・3回転で実施)

3. 実績報告(2020年度)実績

(1) 就職実績 就職希望者数 310名、就職内定者数 302名、内定率97.4%

エアラインコース 114名

- ・CA職1名 : フジドリームエアラインズ
- ・GS職51名 : 奄美空港、ANA大阪空港、ANA関西空港、Kスカイ、JALスカイ、
JALスカイ大阪、CKTS、スカイマーク、ドリームスカイ名古屋他
- ・他62名 : ホテル、空港警備、受付、新幹線パーサー等接客マナー/語学を活用できる職種

ホテルコース 33名

- ・ハイアットリージェンシー大阪/京都、パークハイアット東京、HOTEL THE MITSUI、ニューオータ
ニ大阪、森ビル(グランドハイアット東京、アンダーズ東京)、ロイヤルホテル他

トラベルコース 10名

- ・近畿日本ツーリスト関西、JTBメディアリテリング、兵庫トラベル、ユタカ交通他

こども保育コース 12名

- ・保育士9(このうちインターナショナルスクール4)、小学校教諭2(大阪市)、講師登録1

国際ビジネスコース 18名

- ・アップルジャパン、ANAカーゴ、鴻池運輸、JALカーゴサービス、DHLサプライチェーン、日
航関西エアカーゴシステム、日本通運、日新、阪急阪神エクスプレス他

語学系コース 115名 [総合英語・語学留学・アジア言語各コース]

- ・ホテル(15%) : 欽山、京阪ホテルズ&リゾーツ、グランヴィア京都、ロイヤルパーク他
- ・教 育(9%) : キッツニア大阪、セハネットワーク(セハ英語学院)、IBK(インターナショナルスク
ール)他

- ・アパレル(7%)：サマンサタバサジャパン、ラコステジャパン、ラルフローレン 他
- ・その他：ハードロック工業、なだ万、日本通運、ヤマダ電機、他幅広い分野で決定

(2) 各種検定資格取得実績 (4/19 更新済)

英検 1 級・TOEIC850 点以上 32 名(昨年 33 名) (うち卒業年度生取得率→ 3.69%、昨年 3.31%)

英検準 1 級・TOEIC650 点～850 未満 175 名(昨年 231 名)

(うち卒業年度生取得率→ 18.3%、昨年 22.5%)

英検 2 級以上・TOEIC450 点以上の取得者：計 606 名(昨年 629 名)

(うち卒業年度生取得率→ 53%、昨年 46.5%)

(3) 四年制大学編入合格実績報告 (のべ)

【国立大学合計】 20 名

北海道大学(法学部)1名/福島大学(経済経営学類)1名/筑波大学(社会・国際学群)1名/三重大学(人文学部)2名/滋賀大学(経済学部)1名/神戸大学(法学部)1名/和歌山大学(経済学部)3名/島根大学(法文学部)1名/香川大学(経済学部)4名/香川大学(法学部)1名/愛媛大学(法文学部)4名

【公立大学合計】 11 名

福知山公立大学(地域経営学部)1名/大阪市立大学(文学部)1名/大阪府立大学(地域保健学域)2名/鳥取環境大学(経営学部)1名/下関市立大学(経済学部)1名/北九州市立大学(経済学部)1名/北九州市立大学(文学部)2名/北九州市立大学(法学部)1名/名桜大学(国際学群)1名

【私立大学合計】 153 名

駒澤大学(経営学部)1名/駒澤大学(法学部)1名/産業能率大学(情報マネジメント学部)1名/青山学院大学(法学部)1名/中央大学(経済学部)1名/帝京大学(文学部)1名/日本大学(国際関係学部)4名/日本大学(法学部)1名/法政大学(経営学部)1名/法政大学(法学部)1名/専修大学(文学部)1名/京都ノートルダム女子大学(現代人間学部)1名/京都ノートルダム女子大学(国際言語文化学部)1名/京都外国語大学(外国語学部)6名/京都外国語大学(国際貢献学部)1名/京都橘大学(健康科学部)1名/京都橘大学(現代ビジネス学部)1名/京都産業大学(経済学部)1名/京都産業大学(法学部)1名/京都女子大学(現代社会学部)3名/京都女子大学(発達教育学部)1名/京都女子大学(文学部)1名/同志社大学(経済学部)4名/同志社大学(社会学部)1名/同志社大学(商学部)1名/同志社大学(文学部)1名/同志社大学(法学部)1名/龍谷大学(社会学部)1名/龍谷大学(政策学部)3名/龍谷大学(文学部)1名/佛教大学(社会学部)3名/佛教大学(歴史学部)1名/関西外国語大学(英語国際学部)3名/関西外国語大学(外国語学部)10名/関西大学(社会学部)4名/関西大学(総合情報学部)6名/関西大学(文学部)6名/近畿大学(経営学部)13名/近畿大学(経済学部)4名/近畿大学(総合社会学部)1名/近畿大学(法学部)3名/阪南大学(経営情報学部)1名/阪南大学(経済学部)1名/阪南大学(国際コミュニケーション学部)1名/四天王寺大学(教育学部)1名/大阪経済大学(経営学部第1部)1名/大阪経済大学(人間科学部)5名/大阪経済法科大学(経営学部)1名/大阪経済法科大学(法学部)2名/大阪工業大学(知

的財産学部)1名/大阪産業大学(経営学部)2名/大阪産業大学(国際学部)1名/追手門学院大学(経済学部)2名/追手門学院大学(国際教養学部)4名/追手門学院大学(社会学部)1名/追手門学院大学(心理学部)2名/桃山学院大学(国際教養学部)7名/桃山学院大学(社会学部)4名/関西学院大学(経済学部)6名/関西学院大学(総合政策学部)4名/関西国際大学(現代社会学部)1名/甲南女子大学(人間科学部)1名/甲南女子大学(文学部)1名/神戸学院大学(人文学部)3名/四国大学(文学部)1名/
※実績合計=184名 *全体の合格決定率=97.1% (111名/113名)、※昨年度実績合計=156名
*全体の合格決定率=98.2% (111名/113名)

4. その他特記事項

(1) 国際交流・海外研修

海外インターンシッププログラム、海外留学、語学研修などすべて実施できずオンライン留学など代替プログラムにて提供。留学再開にむけての準備を並行して進める。

(2) 大阪府国際化戦略実行委員会 大阪府委託事業「グローバル体験プログラム」=20年度は1,221名の中学・高校生が参加。社会的評価を高めるとともに学校の認知度向上をはかる。

(3) 専門学校第三者評価受審、2022年3月公開にむけて準備中。

以上

I-3. 留学生事業部（2020年度事業報告）

1. 総括

2020年度4月生と10月生の正規生入学者(留学ビザ及び在留の日本語・進学系コース)は342名(前年540名)となり前年比63.3%であった。4月生に関しては、入国制限が解除されず留学生がほとんど入国できない状況であったが、10月生に関しては、入国遅れの学生に対して11月、1月と複数の受入時期や海外でのデマンド授業も準備し10月期の入学希望者をほぼ全て受け入れることができた。年間のビザ申請許可率に関しては、99.1%(448/452)となっており、学生の質(学習意欲、経費支弁力)は国内の日本語学校でもトップクラスを継続している。

教育成果を測る一つの指標である日本留学試験は前期日程が中止となったこともあり、国立大学を狙える留学試験300点以上取得者は、33名(前年74名)と減少した。しかし、コロナ禍での大学入試制度の変更に柔軟に対応できたこともあり、大学・大学院合格者総数は、197名(前年186名)、国公立及び関関同立の合格者数は45名(前年39名)と昨年以上の進学実績を残す結果となった。また、全専日協弁論大会(3年連続入賞)、や日本留学アワーズ入賞(6回目)にて日本語教育、学生ケア面にて高い評価をいただいた。

日本人と留学生が混じるBUDDY制度においては、対面で実施することはできなかったがオンラインでの運営体制を構築し、2021年度は延べ600名を目標に実施する。また、次年度に向けて大幅なカリキュラム改定を実施する。語学力の基礎となる初級、中級のカリキュラムを大幅に変更し、今以上に確実に力の付く日本語教育を目指す。今後も「厳しいけれども力がつく」「意欲の高い学生が集まる」「日本人学生と混ざる」などの方針は継続し、他校に真似できない環境や教育の充実を図りオンリーワンのポジショニングを守る。

2. 学事報告 2020年4月～2021年3月

4月	・大学進学コース入学式 ・ 日本語学科春季入学式
5月	・健康診断 ・校外学習 中止
6月	・会話テスト ・日本留学試験 中止
7月	・日本語学科春季中間試験 ・第一回日本語能力試験 中止
8月	・関関同立&大学進学説明会
9月	・会話テスト ・大学進学コース前期末試験 ・日本語学科春季期末試験 ・日本語学科春季修了日
10月	日本語学科秋季入学式・日本語学科秋季授業開始日
11月	第二回日本留学試験 ・健康診断 ・校外学習中止
12月	・会話テスト ・第二回日本語能力試験 日本語学科秋季中間試験
2月	大学進学コース後期末試験 ・大学進学コース修了日・卒業式
3月	・会話テスト・日本語学科秋季期末試験 日本語学科秋季修了日・卒業式

3. 実績報告

(1) 進学実績

●大学院 32名(前年30名)

(国公立) 11名(前年10名): 大阪大学大学院1、神戸大学大学院2、三重大学大学院1、北海道大学大学院1

大阪市立大学大学院3、兵庫教育大学大学院2、大阪府立大学大学院1

(私立) 21名(前年20名) : 関西大学大学院4、立命館大学大学院10、京都橘大学大学院1、同志社女子大学大学院1、佛教大学大学院1、京都橘大学大学院1
京都芸術大学大学院1、関西大学会計専門職大学院1、千葉商科大学大学院1

●大学 165名(前年156名)

(国公立) 14名(前年16名) : 奈良女子大学1、滋賀大学1、山口大学1、高知大学1、富山大学1、静岡大学2
兵庫県立大学1、下関市立大学1、公立鳥取環境大学1、広島市立大学2
高知県立大学1、福岡女子大学1

(難関) 31名(前年24名) : 立命館大学9、関西学院大学8、関西大学7、同志社大学3、立教大学1
中央大学1、東京理科大学1、国際基督教大学1

(その他) 120名(前年116名) : 京都産業大学7、近畿大学8、龍谷大学8、京都精華大学4、追手門学院大学9、大阪経済大学2、流通科学大学9、など

●専門学校 105名(前年120名) : ECC国際外語37(うち進学系17)、ECCコンピュータ12、ECCアーティスト美容1、エール学園10、関西経理6、大阪YMCA3、大阪工業技術2など

(2) 2020年度日本語能力試験、日本留学試験、授業満足度の結果

●日本語能力試験

		日本語レベル		2019	2020
日本語学科	N1	受験者		100	58
		合格者		43	32
		合格率		43.0%	55.2%
	N2	受験者		124	149
		合格者		72	121
		合格率		58.1%	81.2%
大学進学コース	EJU	300以上	74	33	

※日本語能力試験、日本留学試験はいずれも前期は中止となった。

●学生満足度

	2019		2020	
	春期	秋期	春期	秋期
日本語学科	4.58	4.56	4.6	4.63
国際C学科	4.38	4.5	4.35	4.23

※緊急事態宣言による休講にともないオンライン授業や、カリキュラムの変更など学生に負担のかかる環境であった。

4. 今後の課題・取り組み

2021年度春期入学者は77名(昨年30名)となったが、入国制限の影響を受け海外からの留学生62名は現在もオンラインにて受講中となっている。国際コミュニケーション学科については日本国内の留学生を募集するため早期オープンキャンパス、オンライン入試等の募集強化もあり、入学者205名(昨年158名)と大幅に増加した。また、2021年10月に日本語学科への入学を希望される方は現在約160名となっている。

海外募集面では、入国できるかどうか分からない状況が続いているため留学希望者が減少しており入

学者の確保が難しくなっている。また、海外出張にて説明会等もできないため、効果的なオンライン説明会や Instagram、YouTube、SNS を活用した学生募集体制を確立する。

また、教育面ではオンラインでも効果的な授業の提供や、教育の均質化のため共通の P P、マニュアルなどを準備した。今後も研修やオブザーブなどを重ね、授業クオリティの向上に努めていく。

以上

I-4. ECCコンピュータ専門学校（2020年度事業報告）

1. 総括

コロナ禍の影響で前期授業の学事日程が1ヵ月ほど後ろ倒しになったが、無事年間授業計画を実施することができた。年度内の陽性者は2名、濃厚接触者は12名だった。全て学生で教職員はゼロ。2019年度は実施できなかった卒業式は短縮版だが実施することができ、318名の学生を送り出した。

入学者数は510名で前年比108.7%であった。4年制コースの在籍者数に対する比率が59.7%になった。進級率は90.3%で前年とほぼ変わらなかったが（前年90.2%）、これに伴い在籍者総数は123名増の1389名（昨対109.7%）になった。また留学生入学者が12名増え84名になり、全留学生数は12名増の182名になった。（在籍者対比13.1%）

教務面に関しては、日本ゲーム大賞アマチュア部門に7年連続の入賞を果たし、3年ぶりに大賞を受賞した。その外にも全国専門学校セキュリティコンテスト(MBSD Cybersecurity challenges)で2年連続最優秀賞を受賞した。企業連携授業や作品発表会はコロナ禍の影響で中止になったり縮小したりはあったが、コロナ禍でもできるオンライン形式のセミナーや作品展示サイトの開発をすることによって、新しい形での企業連携を構築することができた。

国際力強化に関しては、リアル留学はできなかったが、ゲーム(セトリア)もIT(クラウド)もオンラインを使ったオンライン留学を実施することができた。

進路面では、コロナ禍の影響で3~5月は活動ができず、内定するスピードが遅かったが、最終的には内定率が98.8%(98.9%)で、ゲーム・CG分野が54.1%(53.0%)の、IT分野が93.9%(91.7%)の業界内定率を達成した。また留学生の内定率は100%(32人/32人)であった。

「高等教育の修学支援新制度」の認定を受けた初年度は215名の対象者があった。

2. 学事報告

4月	・1年生518名、2年生421名、3年生310名、4年生140名でスタートしたが入学式は中止。
5月	・クラブ、サークル紹介、スポーツ大会、クラス交流会（中止） ・ひとり暮らし交流会（中止） ・一斉休校（4/8~5/6） ・オンライン授業（5/11~5/29）
6月	・地震初動訓練（中止） ・女子学生ランチ交流会（中止） ・基本情報技術者試験午前免除試験（延期） ・分散登校授業（6/1~6/12） 通常授業（6/15~）
7月	・学生アンケート（オンライン授業） ・保護者会実施（7/18） ・基本情報技術者試験午前免除試験実施（7/26）
8月	・前期通常授業再開（8/27~9/6）
9月	・CEDEC2020見学ツアー（中止） ・第1回学校関係者評価委員会（9/5）

	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回教育課程編成委員会（4分野）実施 ・前期作品制作発表会（9/5） ・東京ゲームショー出展、東京ゲーム業界卒業生交流会実施、日本ゲーム大賞表彰式（中止） ・フィンランド OGL 学生来校、ゲームジャム&TGS（中止） ・後期オリエンテーション（9/24-25） ・後期通常授業開始（9/28～）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・CEATEC2019 出展&視察（中止） ・秋情報処理技術者試験実施（中止→C B T形式に） ・後期スポーツ、クラス交流会（中止）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・女子学生交流会（中止） ・防災訓練（火災）実施（11/5） ・第4回校友会総会開催（中止）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期保護者会を実施（12/5） ・MBSD Cybersecurity Challenges 2020 最終審査会（12/17） ・3校合同地球祭（一部開催） ・2022年度募集プレミアムオープンキャンパススタート（12/6～） ・AO入学前教育講座（12/19）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業再開（1/6～） ・学生アンケート、後期期末試験を実施 ・内定者交流会（各分野）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・作品発表会（+E展） ・Global Education Awards 開催（2/5） ・第2回教育課程編成委員会（4分野）実施 ・作品発表会 in 東京（東京：2/13-14） ・ECC EXPO&卒業生交流会開催（2/21-22）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第19回卒業式を挙行できず（3/12）卒業認定者318名 ・教育成果（研究成果）発表会（3/24-25） ・ITオンライン留学（3/1-3/26） ・フィンランドオンラインゲームジャム（3/15-3/19） ・後期作品発表会実施（3/17） ・山口学園運営方針発表会（3/24）

3. 実績報告

(1) 就職実績

就職希望者数…250名 就職内定者数…247名 【内定率：98.8%】

□IT業界内定・・・106名/113名 93.9% (内上場・系列に36名)

富士ソフト、ミライト、TISシステムサービス、近鉄情報システム、
さくらインターネット、タイムテック、旭情報サービス、ソフトウェアサービス、日本総
研情報サービス、SCSK サービスウェア、センコー情報システム他

□ゲーム・CG業界内定・・・73名/135名 54.1%

カプコン、バンダイナムコスタジオ、レベルファイブ、ハル研究所、ビサイド、ガンホー・
オンライン、K1a b、ヘキサドライブ、ディンプス、エイティング、グッドフィール、
ニューロンエイジ、サイバーコネクトツー、サンジゲン、他

(2) 各種検定資格取得実績 (2020/4-2021/3)

□情報処理安全確保支援士合格・・・2名 (2名)

□データベーススペシャリスト合格・・・3名 (1名)

4. その他特記事項

- ・日本ゲーム大賞 アマチュア部門 7年連続入賞 大賞受賞 2回目の日本一
- ・福岡ゲームコンテスト 企画賞受賞
- ・専門学校セキュリティコンテスト 最優秀賞受賞 (2年連続)
- ・Open Hack U 2020 優秀賞
- ・ITオンライン留学を実施 (15名)
- ・フィンランドオンラインゲーム制作を実施 (11名)
- ・ピア活動本格稼働 (ピアチューター制度・ピア学習サポート制度)

以上

I-5. ECCアーティスト美容専門学校（2020年度事業報告）

1. 総括

入学者数が2020年度301名と前年度293名に対して102.7%であった。トータルビューティ学科が例年通り定員枠（90名）を早期に充足することができたうえに、昨年募集を落としていたビューティアドバイザーコースが回復を果たせた（84名から108名）ことが大きい。進級率は前年の88.0%から89.5%と上昇した。しかしながら2,3年生の学生数が減少したことにより総在籍者数は前年677名から2020年度は631名と前年比で93.2%となった。

教務面は担任満足度アンケートでは4.24と前年4.25とほぼ横ばい。授業満足度アンケートは4.29と前年4.14より上昇した。年度初めからコロナによる休校、オンライン授業と通常の授業ができなかったことから、担任の学生ケアや対面授業ができることへの喜びがアンケート結果の数値に反映されている。例年参加している多くのコンテストが中止や延期となった中で、オンライン・ネイルコンペティションでジュニア部門優勝2名、ICAMフォトコンテスト金賞、ヘッドアートフォトコンテストアカシでグランプリ等の実績を得た。美容師国家試験では昼間生が87.5%、通信生が79.7%の合格率と厳しい結果となった。対策が急務となっている。

進路面では最終的な内定率は98.6%となった（昨年は100%）。コロナ禍における求人がビューティアドバイザーとブライダル分野では大幅減となったことが未決定及び決定が遅れている要因となっており、2021年度は早期からの指導が必要になっている。

国際力では、アクティブラーニングを19クラスで導入した授業満足度は4.10（前年3.94）。学習支援アプリのロイロノートを使用して授業の可視化や効率化を測り、学生の英語力アップを図った結果、学生の授業満足度は向上した。EIP参加者は年間281名（含むオンライン72名、前年696名）参加、オンライン留学に3名が参加した。次年度はさらなるiPad授業（ロイロノート）のカリキュラム/手法の構築による接客英会話水準の向上を図る。

企業連携において、教育課程編成委員会は業界の意見をより反映するために学科別開催からコース別開催に変更。また企業連携授業も各コースで実施している。ビューティアドバイザーコースにおいては接客販売コンテストに企業10社が審査員で参加。学校として、社会ニーズに適した即戦力となる人材を輩出するようにしている。

2. 学事報告

4月	・学内/健康診断実施（新生9/26、進級生4/6） ・入学式中止（4/7）、2年生240名・3年生65名進級、プロ専科生24名 ・新学期オリエンテーション、学内マナー研修中止 ・学生交流会延期（4/24）
6月	・保護者会（6/8）、スポーツ大会中止（6/25：大阪中央体育館）
7月	・七夕まつり縮小実施（7/5）
10月	・就職保護者会（10/13） ・ハロウィンパーティ縮小実施（10/25）
11月	・ECCコレクション（11/28 堂島リバーフォーラム）映像配信により無観客実施
12月	・地球祭縮小実施（12/16、12/17）
2月	・美容師国家試験（実技試験2月上旬、筆記試験3/7）
3月	・卒業授与式（3/10）卒業生のみ参加挙行 卒業認定者237名

3. 実績報告

(1) 就職実績

就職希望者数…207名、就職内定者数…204名（内定率98.6%）

- **ヘアメイクアーティストコース：46名**
 <アーティストアシスタント6名>…秋鹿裕子氏、AKIKO ISHIMOTO 氏、田崎未来氏、サイオチアキ氏、木部明美氏
 <ヘアメイクアーティスト8名>…ビーム、エミュ、アトリエはるか 他
 <美容師20名>…S.T.W.W、SIKI、LUAU、TRACE、モードケイズ 他
 <ブライダルメイク2名>…C&C、長沼
 <アイリスト8名>…ヘアメイクウィル、ベッキーラッシュ、ピアス 他
 <ビューティアドバイザー1名>…アモーレパシフィックジャパン
 <ヘアセット1名>…ROOTS BY Lotus
- **トータルビューティストアーティストコース：13名**
 <美容師6名>…モードケイズ、ティラベンド、AVANCE. ホールディングス 他
 <ネイリスト3名>…フリーゾーン、LUXU ヘアタイム美容室
 <アイリスト3名>…クリーク、APA KABAR
 <メイクアップアーティスト1名>…THE FACE MAKE OFFICE
- **ブライダルウェディングコース：7名**
 <プランナー2名>…エスクリ、京鐘
 <ドレスコーディネーター1名>…ワールドサービス
 <サービス2名>…プログレス、クラウディアコスチュームサービス
 <式場総合職1名>…セルビス
 <撮影・ビデオ編集1名>…クラウディア
- **ビューティアドバイザーコース：50名**
 <ビューティアドバイザー 34名>
 シャネル、パルファンクリスチャンディオールジャパン、アルビオン、イプサ、ELC ジャパン(トムフォードビューティー、ボビィブラウン、MAC)、コーセー(コスメデコルテ)、エキップ、オルビス、阪急阪神百貨店、近鉄百貨店、山陽百貨店
 <エステティシャン 12名>
 ビューティ・ミッション、エイチ・ツー・オー、アクスビューティー、ヴィエリスバイオテクノロジービューティー、イーゾインターナショナル
 <その他 4名>
 アパレル、ドラッグストア、等
- **エステティシャンコース：4名**
 <エステティシャン 3名>…TBC グループ、不二ビューティ(たかの友梨)
 <その他 1名>
- **ネイルアーティストコース：17名**
 <ネイリスト17名>
 カルミネーション、cocoloba、JOBSHOP、フリーゾーン、ラレーヌ、Doux 他
- **特殊メイクアーティストコース(プロ専科含)：14名**
 <造形スタッフ12名>
 プライム1スタジオ、メディコプラス、ユーエー、特殊造形工房91、FESアレグロ、東映エージェンシー、ケーイーラボ、アトリエロジ 他

〈舞台技術 1 名〉…トライ・トライ

〈総合職 1 名〉…タカラ塗料

・美容科 (プロ専科) : 12 名

〈美容師 11 名〉…rak、SUN LIFE、TICK-TOCK、ヘアertime、ピーシー、frei、B-first、LOGUE KARASUMA 他

〈エステティシャン 1 名〉…ソシエワールド

・美容科 : 41 名

〈美容師 36 名〉

マッシュ、ジャパンプロデュース、ダブルカラー、リー、KAINO、アン、モードケイズ、ジャパンプロデュース、ヴォーグ美容企画、アン、マッシュ 他

〈アイリスト 5 名〉

Eternity、リラ、ゴールデンツリー、他

(2) 各種検定資格取得実績

- ・ネイリスト検定 1 級 40.3% (前年 : 68.0%)
- ・ジェルネイル検定上級 92.6% (前年 : 94.7%)
- ・JBMA メイクアップ技術検定 BASIC コース 97.9% (前年 : 100%)
- ・JBMA メイクアップ技術検定 PROFESSIONAL コース 85.7% (前年 : 80.1%)
- ・IEA 技能検定 2 級 (国際アイラッシュ協会) 77.6% (前年 79.2%)
- ・美容師国家試験 昼間生 87.5% (前年 96.4%)
- ・美容師国家試験 通信生 79.7% (前年 81.1%)
- ・City & Guilds LEVEL 3 100% (前年 : 90.9%)
- ・色彩能力検定 1 級 1 名、2 級 21 名、3 級 41 名が合格し、色彩検定協会より「色彩検定協会奨励賞」受賞

4. その他特記事項

(1) 各種受賞実績

- ・Japan Online Nail Competition ジュニア部門総合 1~3 位独占 他入賞多数
- ・ヘッドアートフォトコンテストアカシ グランプリ
- ・IBF フォトコンテスト 特別賞他 6 名受賞
- ・ICAM フォトコンペティション ゴールド賞他 7 名受賞

以 上